

2026年3月12日
(株)日本線路技術

2025年度「土木学会インフラメンテナンス チャレンジ賞」の受賞について

○東日本旅客鉄道株式会社と株式会社日本線路技術は新幹線モニタリング車による線路設備の「スマートメンテナンス」の取組にて、土木学会「インフラメンテナンス チャレンジ賞」を受賞しましたのでお知らせいたします。

1. 「インフラメンテナンス チャレンジ賞」とは

土木学会が創設したインフラメンテナンス分野の表彰制度の一つで、点検・診断、設計、施工・マネジメント等の個別または組合せ技術を駆使し、特に地域のインフラメンテナンスに寄与したもの、あるいは、創意工夫によりインフラメンテナンスに対する管理者、市民等ステークホルダーの意識の向上が認められた取り組み等を表彰する制度です。

2. プロジェクト内容・受賞理由

東日本旅客鉄道株式会社と株式会社日本線路技術は、新幹線の保守業務において、レール内部の傷などの状態や、まくらぎ等の設備状態を点検・検査する2種類のモニタリング車による検測体制を構築しました。

本検測体制の構築により、線路設備の状態に応じた補修を可能とするCBM(状態基準保全)と、業務の省力化・効率化による働き方改革の両立を実現しました。さらに、AIを活用した業務システムにより、安全・安定輸送のさらなるレベルアップを実現した点が評価されました。

【土木学会 HP】

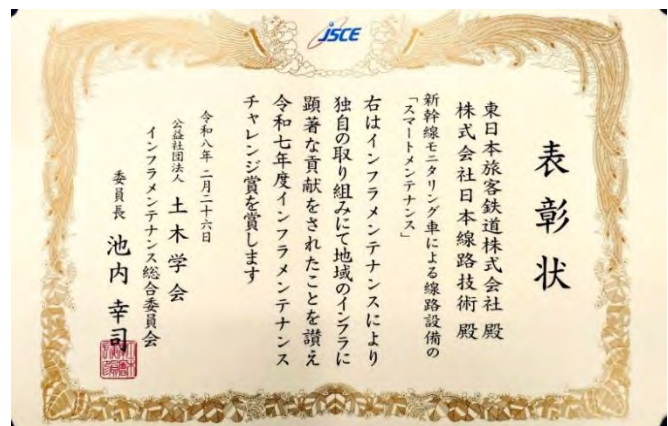
[2025年度 インフラメンテナンス賞の授賞対象決定](#)



線路設備モニタリング車「SMART-Red」



レールモニタリング車「SMART-Green」



2025年度土木学会インフラメンテナンス チャレンジ賞 表彰状

【お問合せ先】

株式会社日本線路技術 検測事業部 03-5284-6062